

私の仕事の目的はスーツを売る」とではない

服で打ちのめされ、 服に救われた

ではないと感じています。

人生の主役は その人自身

皆さま、あけましておめでとうございます！ 2021年がスタートしましたね。今年はどんな1年にしようか？ あれもしたい、これもしたいと希望に胸を膨らませているかたも多いと思うのですが、私もその1人です。

今年2021年をどんな素晴らしい年にしようかといま色々なことを考えています。

とお話を進めていく前に、このニューズレターの雰囲気が随分と変わったね…と思われた方もいらっしゃるかと思います。

そうなんです、2021年色々な挑戦をしていくなかでニューズレターのフルリニューアルをしてみようと今回大幅にデザインを変更することにしました！

イルサルトを創業した12年前の2009年からニューズレターをはじめました、作ったきっかけはデジタルな媒体ではなく紙媒体でも自分の想いをお伝えしたいというものです。

二ユーズレターのタイトルは「イルサルトスタイルマガジン」洋服の知識や、お役立ち情報をまとめたものを春夏秋冬の年4回の発行する」とからはじめました。

そして仕事をしていくなかで感じたのは、私の仕事の目的はスーツを売ることではなくてスーツを通してお客様自身のブランド作りのお手伝いをすること。これを端的にもわかりやすく言えば「カッコイイオヤジ」を創ることです。

私の考えるカッコイイオヤジとは、ただ單に見た目の良い人ではありません。仕事への情熱、他人への接し方、所作、そして見栄えなど生き方すべてがカッコイイ人のことを指します。こうしたカッコイイオヤジをどんどん増やしていくたいという想いで、ニューズレターの

タイトルを「ニッポンのカッコイイオヤジ名鑑」に変え毎月発行に変更し、昨年12月までに99回の発行をしてきました。

そして記念すべき100号をむかえるのが、2021年1月という新しい1年の始まるキリの良いタイミングでしたので、このタイミングでフルリニューアルをしようと思ったのが今回です。

ニューズレターをフルリニューアルしようと思ったのは、もう1つの理由があります。それは世界観を統一させたいという想いです。イルサルトのような小さな会社がブランド力をつけていくためには、一点突破しそこを深めていくほか方法はないと思っています。大手企業のようには広く商品展開し、客層も出来ただけ広げ、広告を使って認知度を高めていくような方法はイルサルトには向きません。

商品やサービスを出来るだけ絞りこみ、お役に立つことの出来るお客様を限定して、お客さまに直接届くこうしたお手紙やSNSを使って時間をかけて共感や関係性を作っていくことが重要だと考えています。

そしてお客様の目に触れるものの世界観がすべて統一されていること、ホームページをみてもフェイスブックを開いても、ニューズレターを読んでも、そして実際に会っても世界観や印象がまったく変わらないことで記憶に残りやすくなり、結果としてブランド力や認知度があがっていく、そう考えています。

そこで今回リニューアルにあたってIP(二)protagonista)という名前になりました。これからIP(II protagonist)で色々な人生の主役たちを紹介させていただこうと考えています。

そして仕事をしていくなかで感じたのは、

新しいニューズレターのタイトルはIP(II protagonista)イタリア語で「主役」という意味です。カッコイイオヤジを増やすんだ！

という想いは全く変わっていないのですが、考えかたがすこし変わってきたいるところがあります。こうしたカッコイイオヤジをどんどん増やしていくたいという想いで、ニューズレターの

人にはそれぞれの人生があり、なにを大切に生きるのか？ は人それぞれ。でも間違いない言えるのは、それぞれの人生の主役はその人自身であること。主役たる人生を歩んでいくうえで、お客様の人生の衣装担当としてお役立ちすることはできないか？ という想いがわいてきました。

「自分の人生が映画になつたら誰に演じてほしいか？」

最近そんなことを考えのですが、自分が人生が映画になつたときにはどんな俳優さん

が演じていて、どんな所作や話し方をするのか？ そしてどんな衣装を着ているのか？

と考え出すと自分のことのようで自分のことではなくなってきて、すぐく客観的に自分分を見ることが出来るようになるのですごく面白いのです。

同時に「なりたい理想の姿や人生」がおぼろげながら見えてくるので、目指す方向が決まってくるのです。そこで私の出番なので

すが、私はその映画の衣装担当として、その理想が早く実現するようなお手伝いを出来ればとも考えています。

そこで今回リニューアルにあたってIP(II protagonist)という名前になりました。これからIP(II protagonist)で色々な人生の主役たちを紹介させていただこうと考えておられますので、ぜひ楽しみにしておいてくださいね！ ちなみに私の人生が映画になつたら、主役を演じてほしいのは竹中直人さん、皆さまもぜひ考えてみてください！ すごく面白いですね。

そして今回リニューアル最初のIP(II protagonist)は、私のお話を少しさせていました

だけれどと思います。ブログなどで過去の話はよくしているのでご存知のかたも多いと思うのですが、最近のお客さまの中には知らなかつたものいらつしやるので、あらためて自己紹介をさせて頂きたいと思います。

私は1972年(昭和47年)奈良市で生まれました。今年で49歳になります。1972年といえば第2次ベビーブームの真っ盛り、子どもの数がとにかく多く、受験、就職活動と常に競争にさらされてきた世代です。同じ年には有名人も沢山いますが最初に有名になったのは貴乃花闘でした。私がただの大学生だった時に彼は既に大横綱。私が宮沢りえさんのサンタフェを数時間かけて並んで買っている時に彼は何と婚約。この差は一体なんなのだろうと落ち込んだこともあります(笑)

父は、独立して事業を興したいという思いから事業を立ち上げました。事業意欲が有り能力も非常に高かつたので事業を順調に成長させ、婦人服専門店を4店舗構えました。母はとにかく人に丁寧で真摯に何事にも向き合う性格でしたので、周りに母の事を悪く言う人はいませんでした。コミュニケーションを取るのが上手な父と自分に出来た事を愚直にやり続ける母、今の仕事に大切な必要な能力を私は両親から教えてもらったりました。上から2番目だった学校の成績も下から3番目まで急降下しました。

ところが、そんな最悪の状況を救ってくれたのが2歳上の姉でした。あまりにダサく、落ち込んでいた弟の姿を不憫に思った姉は母と相談し私に一週間分のコードネート表を作ってくれた上に、親と相談して私に服を買ってくれたのです。そのコードネート表は上から下まで何をどう着るのか？ ソックスの色まで細かく指示したものでした。そして姉の指示どおりの服を着た日から人生がわり始めました。会う人ごとに服のことを语られるのです！

試しに自分で選んだ服を着ると何も言われない。その違いはよく分からなかつたものの、ホメられることが自信となつて誰とでも話せるようになりました。会う人ごとに服のことを語られるのです！

ダントツの1位になつていました。女の子と話すだけでも緊張していたのに姉のコードネートした服を着ている時だけは女の子の子と話せるようになり、最後にはナンパまで出来ますよ。

そして今回リニューアル最初のIP(II protagonist)は、私のお話を少しさせていました

だけれどと思います。ブログなどで過去の話はよくしているのでご存知のかたも多いと思うのですが、最近のお客さまの中には知らなかつたものいらつしやるので、あらためて自己紹介をさせて頂きたいと思います。